

Requested Patent: JP5076565A

Title: DISPOSABLE DIAPER ;

Abstracted Patent: JP5076565 ;

Publication Date: 1993-03-30 ;

Inventor(s): WATANABE HISANORI; others: 03 ;

Applicant(s): KAO CORP ;

Application Number: JP19920016887 19920131 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: A61F13/15; A61F5/44 ;

Equivalents: JP3187110B2 ;

ABSTRACT:

PURPOSE:To prevent excreta from being leaked and to exchange only the part soiled by excreta by joining an absorptive main body to an outermost layer sheet and forming leg gathers at the leg opening parts of the outermost layer sheet by an elongation and contraction elastic member.

CONSTITUTION:For a disposable diaper 1, an absorptive main body 3 provided with an absorbing body 17 is arranged between a liquid permeable top sheet 15 and a back sheet 16, and a water-repellent outermost layer sheet 2 to hold the absorptive main body 3 while abutting it to a user is joined to the absorptive main body 3. Then, a waist opening part 11 and a pair of leg opening parts 7 are formed by joining and fixing both side edge parts of a belly side part, which is positioned on the belly side, and a back side part positioning on the back side at the outermost layer sheet 2. In this case, leg gathers 13a are formed by an elongation and contraction elastic member 13 at least at the leg opening parts 7 of the outermost layer sheet 2. Thus, the leakage of excreta is effectively prevented, and only the part soiled by excreta can be exchanged.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-76565

(43) 公開日 平成5年(1993)3月30日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15 5/44	H	7807-4C 2119-3B 2119-3B	A 4 1 B 13/02	G M

審査請求 未請求 請求項の数10(全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平4-16887

(22) 出願日 平成4年(1992)1月31日

(31) 優先権主張番号 特願平3-59409

(32) 優先日 平3(1991)3月1日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000000918

花王株式会社

東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

(72) 発明者 渡辺 久記

栃木県河内郡上三川町上蒲生2166

(72) 発明者 川口 晴子

栃木県宇都宮市東宿郷3-9-8

(72) 発明者 赤木 利彦

栃木県宇都宮市睦町4-12-809

(72) 発明者 田川 和弘

栃木県芳賀郡市貝町市塙4594

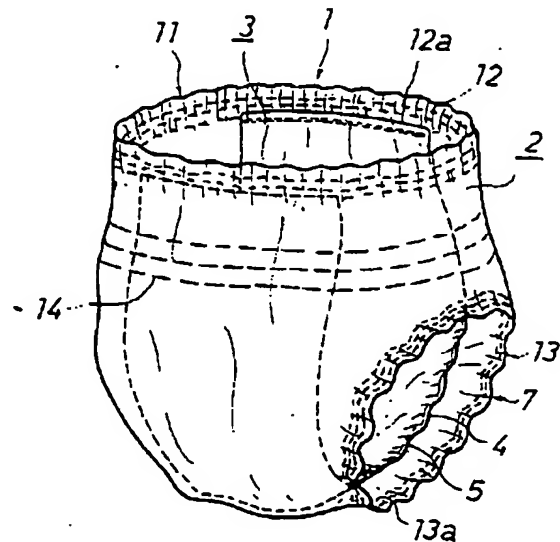
(74) 代理人 弁理士 羽鳥 修

(54) 【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【目的】 排泄物の漏れを防止し且つ排泄物による汚れ部分のみの取り替えが可能な使い捨ておむつを提供することにある。

【構成】 本発明の使い捨ておむつ1は、液透過性のトップシート15と、これに相対するバックシート16と、これら両シート間に配置された吸収体17とを有する吸収性本体3、及び該吸収性本体3が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで該吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シート2を備え、上記最外層シート2の腹側に位置する腹側部と背側に位置する背側部のそれぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部11と一対のレッグ開口部7、7とを形成した使い捨ておむつにおいて、少なくとも上記最外層シート2のレッグ開口部7、7に伸縮弾性部材(第3弾性部材)13によりレッグギャザー13aを形成したことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 液透過性のトップシートと、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び該吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで該吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備え、上記最外層シートの腹側部及び背側部それぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成した使い捨ておむつにおいて、少なくとも上記最外層シートのレッグ開口部に伸縮弾性部材によりレッグギャザーを形成したことを特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項2】 液透過性のトップシートと、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び該吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備え、上記最外層シートの腹側部及び背側部それぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成した使い捨ておむつにおいて、上記吸収性本体の長手方向に沿う両側縁が自由端となっており、少なくとも上記両側縁に伸縮部材を配置することにより、着用時に上方に起立した股下部に股下ギャザーを形成したことを特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項3】 液透過性のトップシートと、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び該吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備えた使い捨ておむつにおいて、上記吸収体の形状が、中央凹部を有する、砂時計型又はT字型であり、

該中央凹部には、上記吸収体の長手方向の両側に弾性材が張設されており、且つ上記バックシートが、上記吸収性本体の中央領域のみにあって、上記最外層シートに接合されていることを特徴とする使い捨ておむつ。

【請求項4】 上記最外層シートの腹側部及び背側部それぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成したことを特徴とする請求項3項に記載の使い捨ておむつ。

【請求項5】 上記最外層シートのレッグ開口部に伸縮弾性部材により、レッグギャザーを形成したことを特徴とする請求項2又は4項に記載の使い捨ておむつ。

【請求項6】 上記吸収性本体の中央凹部に、股下部ギャザーを立設してあり、該股下部ギャザーの立設高さが20mm以上であることを特徴とする請求項3又は4項に記載の使い捨ておむつ。

【請求項7】 上記最外層シートのウエスト開口部に、伸縮弾性部材により、ウエストギャザーを形成したことを特徴とする請求項1、2及び4～6項の何れかに記載

の使い捨ておむつ。

【請求項8】 上記最外層シートのウエスト開口部とレッグ開口部との間に、伸縮弾性部材により着用者の胸まわりを締め付ける胴回りギャザーを形成したことを特徴とする請求項1、2及び4～7項の何れかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項9】 上記バックシートが撥水性であることを特徴とする請求項1～8項の何れかに記載の使い捨ておむつ。

10 【請求項10】 上記吸収性本体が上記最外層シートから剥離自在であることを特徴とする請求項1～9項の何れかに記載の使い捨ておむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は使い捨ておむつ、特に、幼児用、成人用あるいは失禁者用として用いられる使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の使い捨ておむつは、例えば、特公昭52-40267号公報に開示されているように、液透過性のトップシートと液不透過性のバックシートと、これらの両シート間に位置する吸収体とからおむつ本体を構成し、該おむつ本体の左右に延出するサイドフラップに伸縮弾性部材を配設してギャザーを形成し、かつ該サイドフラップにおける背側の両側端縁に止着具を配設して調節可能とすることにより、フィット性、防漏性の向上を意図したいわゆるフラット型のおむつが一般的である。さらに、特開昭62-250201号公報に開示されているように、レッグ部のギャザーを立体化した

30 20 40 吸収体周囲のフラップ部を撥水性にして防漏効果を高めたものが知られている。

【0003】 しかし、最近では、フィット性及び装着性の向上を目的として、特開昭57-77304号公報に開示されているように、左右一対のサイドフラップにおける腹側領域と背側領域を互いに接合固定して左右一対のレッグ開口部及びウエスト開口部をそれぞれ形成した、いわゆるパンツ型の使い捨ておむつが提案されている。該パンツ型の使い捨ておむつは、レッグ開口部及びウエスト開口部がそれぞれ伸縮自在に形成されて体型に

40 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述の従来のパンツ型の使い捨ておむつは、股下部を狭く形成しなければならないので、伸縮弾性部材が吸収体から離間して配置することができず、その結果、吸収体の剛性

の影響を受け、本来の伸縮物性を発揮することが困難であった。同時に両側縁部の接合部分は伸縮弾性部材により、しわや隙間が生じ易く、排泄物が漏れる原因となっていた。また、漏れ防止策として効果的なレッグギャザーの立体化も、股下部が狭いこと、製造面において困難があるという問題があった。

【0005】排泄物、特に尿のにじみ漏れ防止策として効果的な周囲撥水化技術も、パンツ型おむつにおいては、これも股下部が狭いことにより、親水部分と撥水部分を明確に区別して形成することができないため、十分な効果が発揮させることができなかった。さらに、パンツ型おむつの従来の製造方法では搬送上、ウエスト部分に撥水部を設けることは不可能であった。

【0006】また、従来の使い捨ておむつは、排泄物を吸収し、保持するのは、排尿ポイント付近だけであり、かかる部分のみが汚れ、他の部分、例えば、ウエストの側部は実質的に汚れることがないので、おむつ全体を捨てるのでは、無駄を生じるとともに、不経済である。従って、本発明の目的は排泄物の漏れを有効に防止できる使い捨ておむつを提供することにある。

【0007】また、本発明の他の目的は、排泄物による汚れ部分のみの取り替えが可能な使い捨ておむつを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、液透過性のトップシートと、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び上記吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備え、上記最外層シートの腹側部及び背側部のそれぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成した使い捨ておむつにおいて、少なくとも上記最外層シートのレッグ開口部に伸縮弾性部材によりレッグギャザーを形成したことを特徴とする使い捨ておむつを提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0009】また、本発明は、液透過性のトップシートと、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び該吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備え、上記最外層シートの腹側部及び背側部それぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成した使い捨ておむつにおいて、上記吸収性本体の長手方向に沿う両側縁が自由端となっており、少なくとも上記両側縁に伸縮部材を配置することにより、着用時に上方に起立した股下部に股下ギャザーを形成したことを特徴とする使い捨ておむつを提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0010】更に、本発明は、液透過性のトップシート

と、これに相対するバックシートと、これら両シート間に配置された吸収体とを有する吸収性本体、及び該吸収性本体が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シートを備えた使い捨ておむつにおいて、上記吸収体の形状が、中央凹部を有する、砂時計型又はT字型であり、該中央凹部には、上記吸収体の長手方向の両側に弾性材が張設されており、且つ上記バックシートが、上記吸収性本体の中央領域のみにおいて、上記最外層シートに接着されていることを特徴とする使い捨ておむつを提供することにより、上記目的を達成したものである。

【0011】

【作用】請求項1記載の使い捨ておむつによれば、最外層シートに吸収性本体を接合し、該吸収性本体を着用者の股下部に当て、通常の下着と同様にして着用する。着用中においては、パンツ型の最外層シートのレッグ開口部はレッグギャザーにより着用者の脚部にフィットするのでかかる部分からの漏れを確実に防止する。

【0012】請求項2記載の使い捨ておむつによれば、最外層シートに吸収性本体を接合し、該吸収性本体を着用者の股下部に当て、通常の下着と同様にして着用する。着用中においては、吸収性本体の両側縁が自由端となっており、且つ、弾性部材が伸縮してレッグギャザーを形成することにより、吸収性本体が着用者の脚部にフィットして排泄物を十分に保持、吸収するので、排泄物のしみ漏れを確実に防止することができる。

【0013】請求項3記載の使い捨ておむつによれば、吸収性本体と最外層シートとの接着部が中央領域のみであるから、弾性材の伸縮時に吸収体の剛性の影響を少なくし、漏れ防止用の股下ギャザーの形成を容易にすることができる。また、上記のいずれの発明においても、最外層シートから吸収性本体剥離可能に接合すれば排泄後には、取り替え用の新たな吸収性本体を最外層シートの該部分に固着して最外層シートを再使用することが可能である。

【0014】

【実施例】以下に、添付の図面を参照し乍ら、本発明の好ましい一実施例を詳細に説明する。始めに、添付図面の図1～図4を参照して本発明の第1実施例について説明する。

【0015】図1は本発明の第1実施例による使い捨ておむつの斜視図、図2は図1に示す使い捨ておむつを展開した状態の一部切り欠き平面図、図3は図1に示す使い捨ておむつをIII-III線に沿って切断した断面図、図4は図1に示す使い捨ておむつをIV-IV線に沿って切断した断面図である。本発明の第1実施例による使い捨ておむつ1は、いわゆるパンツ型の使い捨ておむつであり、図1に示すように、液透過性のトップシート15と、これに相対するバックシート16と、これら両シート間に配置された吸収体17とを有する吸収性本体3、

5

及び該吸収性本体3が接合され着用時に着用者のウエストを囲んで該吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シート2を備え、上記最外層シート2の腹側に位置する腹側部と背側に位置する背側部のそれぞれの両側縁部を接合固定してウエスト開口部11と一対のレッグ開口部7、7とを形成した使い捨ておむつにおいて、少なくとも上記最外層シート2のレッグ開口部7、7に伸縮弾性部材(第3弾性部材)13によりレッグギャザー13aを形成したことを特徴とする。

【0016】最外層シート2は、吸収性本体3よりも実質的に大きな寸法の略四角形状に形成され、その長手方向略中央には吸収性本体3が接着材Aにより剥離自在に固着されている。吸収性本体3が接着されている両側部には凹欠部6が形成されており、パンツ型を形成したときにレッグ開口部7、7を形成するようになっている。凹欠部4の形成されているくびれ部分の上方と下方とは、夫々、吸収性本体3の両側から幅方向外方に左右一対のサイドフラップ8、8と9、9とが延出されている。

【0017】サイドフラップ8、8と9、9との夫々の端縁は、上下のサイドフラップ8、9を接合部にて互いに融着してパンツ型を形成するようになっている。また、最外層シート2の長手方向における端縁部には、吸収性本体3の外方へ延出する一対のウエストフラップ10a、10bが設けられ、パンツ型を形成した際に、ウエスト開口部11が形成されるようになっている。ウエストフラップ10a、10bには、夫々第2弾性部材12が、サイドフラップの凹欠部6には第3弾性部材13が張設され、それぞれウエストフラップのギャザー12a、レッグ部のギャザー13aを形成し、着用時に着用者へのフィット性を高め、ずれ落ち防止が図られている。更に、着用時にウエスト開口部11とレッグ開口部7、7との間に第4弾性部材14が張設されて、着用者の胴回りのフィット性を高めるようになっている。

【0018】吸収性本体3は、最外層シート2に接合された際に、凹欠部6に張設された第3弾性部材13の内側に位置するように配置され、レッグギャザー13aと股下ギャザー5とが順次重ならず形成されるようになっている。吸収性本体3は、着用者の肌に接する側を形成する液透過性のトップシート15と、該トップシート15の対応する液不透過性のバックシート16と、トップシート15とバックシート16との間に介在された吸収体17とから構成されている。また、吸収性本体3には、該吸収体17の両側縁から幅方向外方へ延出する左右一対の本体フラップ18、18と、該本体フラップ18、18の両側縁のそれぞれに股下ギャザー5を形成するように上述した第1弾性部材4、4が吸収性本体3の長手方向に沿って張設されている。

【0019】この本体フラップ18、18は自由端となっており、吸収性本体3はその底面において、バックシ

6

ート16の略中央部のみが接着されて、股下ギャザー5の形成を容易にしている。トップシート15は、排泄物を吸収体17へ透過させる液透過性シートで肌着に近い感触を有したものが好ましく、このような液透過性シートとしては、例えば、織布、不織布、多孔性フィルム等が好ましい。また、トップシート15の周縁部にシリコン系油剤、パラフィンワックス等の疎水性化合物を塗布する方法や、予めアルキルリン酸エステルのような親水性化合物を塗布し、周縁部を温水で洗浄する方法により撥水処理を施し、周縁部における尿等のしみによる漏れを防止することができる。

【0020】バックシート16は、熱可塑性樹脂にファイラーを加えて延伸した透湿性のある液不透過性シートや肌着に近い感触を有したものの、例えば、フィルムと不織布との複合材あるいはフィルムと織布の複合材等が用いられる。吸収体17は、解繊パルプを主材とし、高分子吸水ポリマーを併用したものが好ましく、そのほか、熱可塑性樹脂、セルロース繊維、高分子吸水ポリマーの混合物を熱処理したものなどが好ましい。高分子吸水ポリマーの存在位置は上層、中層、下層のいずれであってもよく、パルプと混合したものであってもよい。該高分子吸水ポリマーは、自重の20倍以上の液体を吸収して保持し得る保持性能を有し、ゲル化する性質を有する粒子状のものが好ましく、このような高分子吸水ポリマーとしては、例えば、デンプン-アクリル酸(塩)グラフト共重合体、デンプン-アクリロニトリル酸(塩)重合体などが好ましい。吸収体17の形状としては、着用者の体型に合わせた砂時計の形状が好ましいが、矩形であってもよい。

【0021】最外層シート2は、好ましくは液不透過性で、通気性を有し、肌着に近い感触の高可撓性シートであって、このようなシートとしては、撥水処理を施した織布、不織布などが挙げられる。特に、液不透過性フィルムの片面もしくは両面を不織布でラミネート加工したものが、感触、尿等のしみによる漏れ防止機能に優れ、特に好ましい。

【0022】第1、第2、第3、第4弾性部材4、12、13、14は、一般に伸長した状態で吸収性本体3及び最外層シート2に超音波溶着、熱溶着、接着剤などの業界公知の手段を用いて接合される。材質としては、糸ゴム、平ゴム、フィルムタイプのゴムあるいはテープ状の発泡ポリウレタンなど、業界で公知のものであれば何でも使用することができ、1本あるいは複数本であってもよい。かかる弾性部材は、150%伸長時の応力が70~100gであるものが特に好ましい。

【0023】接着材Aは、剥離自在な公知の接着材等が用いられており、吸収性本体3の内側、好ましくは吸収体17の内側にて、点状または線状に接着される。接着剤Aの材料としては、ホットメルト接着剤、スチレン・ブタジエン共重合体、アクリル酸エステル共重合体、酢

酸ビニル、エチレン・オレフィン共重合体、石油系樹脂、コールドグルー等が使用される。

【0024】次に、第1実施例の作用について説明する。図2に示す展開状態の最外層シート2のサイドフラップ8、9の側縁を互いに接合して図1に示すような、ウエスト開口部11と一対のレッグ開口部7、7を形成したパンツ型のおむつを形成する。この最外層シート2には、その内側に吸収性本体3が接着剤Aにより剥離自在に接着されている。

【0025】着用時には、ウエスト開口部11に両足を10 通して、パンツ型のおむつを引き上げて、各レッグ開口部7、7に脚を通して着用する。着用中においては、最外層シート3のウエスト開口部11、及びレッグ開口部7、7においてギャザーが形成されており、着用者へのフィット性、追従性及び漏れ防止性が図られている。更に、第4の弾性部材14により胴回りにおける着用者へのフィット性が向上されている。

【0026】着用中には、吸収性本体3において、股下10 ギャザー5が形成されており、排泄物等が吸収性本体3から最外層シート2へ漏れが防止される。また、上記最外層シート2のレッグ開口部7、7のレッグギャザーと共に二重のギャザーが形成されているので脚部からの確実な漏れ防止が図られているのである。そして、排泄物の排泄後には、吸収性本体3を最外層シート2から剥離して、新たな吸収性本体3を最外層シート2に接着剤Aにより接着して交換する。このように、第1実施例によれば、排泄物により汚れた吸収性本体のみの交換を容易におこなうことができる。

【0027】次に、添付図面の図5～図7を参照して、第2実施例について説明するが、この第2実施例において、上述した第1実施例と同一部分には、同一の符号を付することによりその部分の詳細な説明を省略する。図5は第2実施例の使い捨ておむつの平面図、図6は図5に示す使い捨ておむつをVI-VI線に沿って切断した断面図、図7は図5に示す使い捨ておむつをVII-VII線に沿って切断した断面図である。

【0028】第2実施例による使い捨ておむつ21は、液透過性のトップシート15と、これに相対するバックシート16と、これら両シート間に配置された吸収体17とを有する吸収性本体23と、着用時に着用者のウエストを囲んで上記吸収性本体を着用者にあてて保持する撥水性の最外層シート2とを備えた使い捨ておむつ21において、上記吸収体17の形状が、中央凹部6を有する、砂時計型又はT字型であり、該吸収体の中央凹部6には、該吸収体17の長手方向に沿って弾性材4が張設されており、且つ、上記バックシートが上記吸収性本体3の中央領域25のみにあって、最外層シート22に接着されていることを特徴とする。

【0029】上記構成を更に詳述すると、上記最外層シート22には、この第2実施例では弾性材は張設されて

いないが、第1実施例と同様にウエストフラップ10a、10b、サイドフラップ8、8、9、9、中央凹部6等に弾性材を張設した構成であってもよい。吸収性本体23内に配置される吸収体17は、図5に示すように、第2実施例では、中央凹部6に対応して中央が凹んだ略砂時計型形状に形成されているが、該砂時計型形状は第1実施例とは別の砂時計型形状である。

【0030】また、図6に示すように、上記中央凹部6において、着用時には、股下ギャザー5が立設されるが、この立設高さHは、20mm以上であることが好ましく、20mm～50mmがより好ましい。20mmより小さいと着用者の脚部へのフィット性が十分でなく、排泄物を保持するのに十分な立体ギャザーが得られないからである。

【0031】弾性部材4は、吸収体17の長手方向の両側に張設されており、吸収体17の一旦から他端に亘って配置され、着用者の股下における脚部の周囲の広範囲に亘って股下ギャザーを形成するようになっている。接着剤Aは、第2実施例では、吸収性本体3の略中央位置の中央領域25のみに塗布されており、吸収性本体3のバックシート16と最外層シート22とを接着しているが、該中央領域25は、四角又は円等全体を塗り潰すように面状に、または円形または四角形の輪郭に沿って線状に塗布するものであってもよい。このように接着剤Aを塗布することによって、接着剤Aが塗布されていない本体フラップ18、18はもちろん、吸収体17の側縁領域も弾性部材4によって起立するので、フィット性向上及び漏れ防止に効果を発揮する。かかる接着剤Aが塗布される中央領域25の位置は、吸収性本体3の長手方向については特に制限はないが、吸収性本体3の短手方向においては、吸収体の最小幅よりも少なくとも20mm短いことが好ましい。即ち、吸収性本体3の最小幅部分において左右の各側縁から10mm以上の距離を有する位置に塗布することが好ましい。このような位置に塗布することによって吸収体側縁の少なくとも左右10mmを起立させることができる。

【0032】尚、接着剤Aとしては、上述した第1実施例と同じものが用いられる。この第2実施例によれば、接着剤Aを中央領域25のみに塗布して接着することにより、吸収体17の剛性による影響を少なくし、使用時に吸収性本体3の股下ギャザー5が立体状態となり、着用者に良好にフィットし、かかる股下ギャザー5からの液漏れを確実に防止できる。更に、接着箇所が中央領域25のみの狭い範囲であるから、吸収性本体23の最外層シート22の剥離も容易にできる。

【0033】尚、該第2実施例による使い捨ておむつ21は、上述した実施例と同様にパンツ型のものであっても、またはファスナーテープで止着するいわゆるフラット型のものであってもよい。次に、図8を参照して第3実施例について説明する。図8は本発明の第3実施例の

9

使い捨ておむつの要部を示す平面図であり、この第3実施例は、吸収体17の形状が異なる他は、第2実施例と同様であるから、第2実施例と同一部分には同一符号を付することによって、その部分の詳細な説明を省略する。

【0034】即ち、第3実施例では、吸収体17の形状を略T字型形状に形成し、着用者の腹側部における吸収体の面積を多くして、腹側部の吸収量を多くしたものである。この第3実施例によれば、必要最小限の吸収体17により有効に漏れ防止を図ることができる。本発明は上述した実施例に限定されず、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々変形可能である。

【0035】例えば、上述した第1実施例では、最外層シート2の両側縁には弾性部材は配置されておらず、吸収性本体3に第1弾性部材4が配置され、股下ギャザー5を形成するようになっていてもよい。また、上述した第1実施例では、最外層シート2のサイドフラップに第3弾性部材13を配置してレッグ開口部7、7にレッグギャザーを形成したが、吸収性本体3に股下ギャザー5を形成していればよく、第3弾性部材13はなくてもよい。

【0036】また、第2及び第3実施例では、接着剤Aは、中央領域の一箇所にのみ塗布されているが、中央領域であれば、複数箇所に塗布するものであってもよい。更に、第2及び第3の実施例においては、上記最外層シート2の腹側部及び背側部それぞれの両側縁部を接合固定して、第1の実施例と同様な、ウエスト開口部と一対のレッグ開口部とを形成した、いわゆるパンツ型の使い捨ておむつとすることもできる。そして、このようにパンツ型の使い捨ておむつとする場合には、ウエスト開口部及びレッグ開口部夫々に伸縮弾性部材を配置して、ウエストギャザー及びレッグギャザーを形成することが望ましい。

【0037】

10

【発明の効果】本発明の使い捨ておむつによれば、排泄物の漏れを有効に防止し且つ排泄物による汚れ部分のみの取り替えが可能な使い捨ておむつを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例の使い捨ておむつの斜視図である。

【図2】図1に示す使い捨ておむつを展開した状態の一部切り欠き平面図である。

【図3】図1に示す使い捨ておむつをIII-III線に沿って切断した断面図である。

【図4】図1に示す使い捨ておむつをIV-IV線に沿って切断した断面図である。

【図5】本発明の第2実施例の使い捨ておむつの平面図である。

【図6】図5に示す使い捨ておむつをVI-VI線に沿って切断した断面図である。

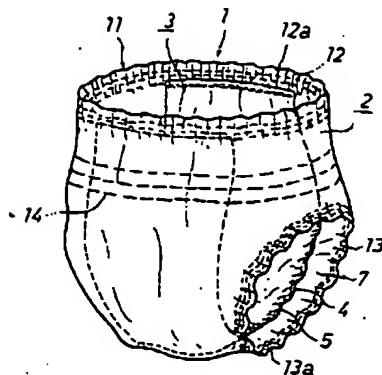
【図7】図5に示す使い捨ておむつをVII-VII線に沿って切断した断面図である。

【図8】本発明の第3実施例の使い捨ておむつの要部を示す平面図である。

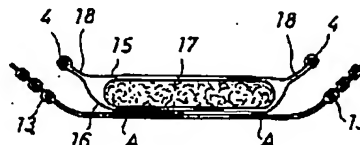
【符号の説明】

- 1、21 使い捨ておむつ
- 2、22 最外層シート
- 3、23 吸収性本体
- 4 第1弾性部材
- 5 股下ギャザー
- 12 第2弾性部材
- 12a ウエストギャザー
- 15 トップシート
- 16 バックシート
- 17 吸収体
- A 接着材
- 25 中央領域

【図1】



【図3】



【図6】

